

## 大宝小学校



ふとん屋のきらりを  
発表する児童



学芸会で発表する  
児童

## よりよい社会にするために、わたしたちにできること

身近な環境問題や社会問題に目を向け、活動に取り組んでいる。

2年生の生活科「つたえよう町のきらり」では、SDG sの目標と結び付けて、様々な人々にとっての町のよさ「きらり」を見付けた。また、学区で働いている人から仕事に対する思いや願いを聞き、地域への関心をさらに高めた。その後、まちの「きらり」を守るために、自分たちができることを考え、町探検やお話会で世話になった方々へ町探検の報告書を送った。

6年生は、地球温暖化・海洋汚染をテーマとしたオリジナルの劇を作成し、12月の学芸会で発表した。「私たちがこれからできることは何だろうか」と、鑑賞した人が考えるきっかけをもつことができるよう、環境問題を分かりやすく伝えるための演技を工夫した。

探究的な学びの実現によって、環境問題（SDG s）を自分事の問題として捉え、どう行動したらよいかを考え、実践につなげることができる児童をこれからも育んでいきたい。